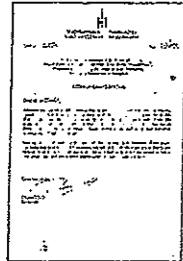


HOME	モンゴル政府からのメッセージ	会社概要	Our Business stage	Our Mission	ウラン・原子力開発 レアメタル等その他資源 輸送インフラ等	お問い合わせ
------	----------------	------	--------------------	-------------	-------------------------------------	--------

MONATOM JAPANの事業フィールド③ 輸送インフラ整備

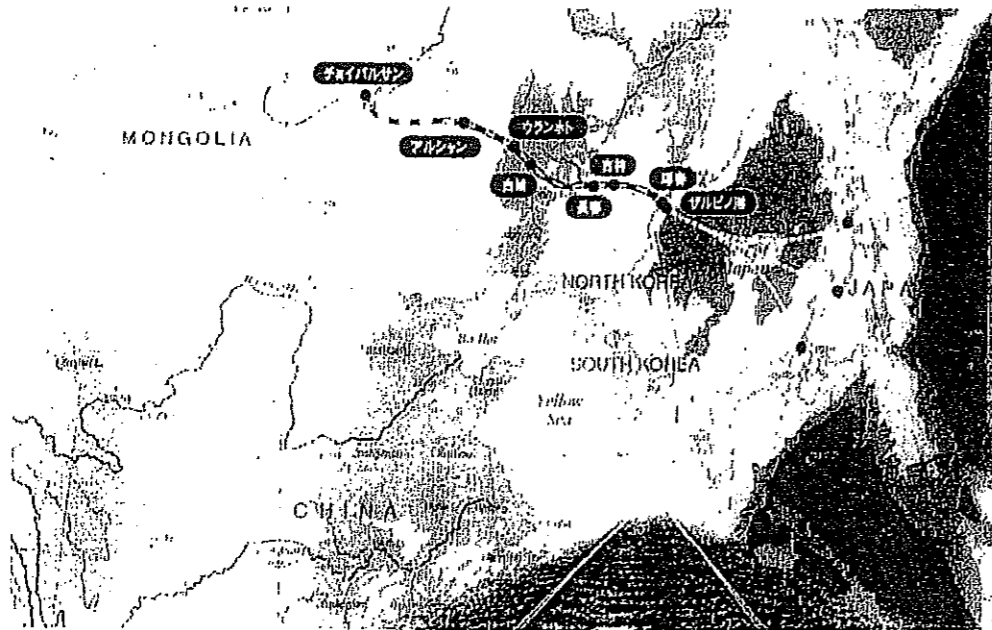


モンゴル政府鉄道局からの
鉄道建設許可書

モンゴルの豊富な地下資源を鉄道輸送で日本海へ

MONATOM JAPANのもう一つの重要なミッションに、鉄道・道路といったモンゴルの脆弱な輸出ルートへの整備があります。この取り組みに向けて、私たちのグループである日中蒙経済発展友好協会(JCM)では、このたびモンゴル政府鉄道局より鉄道建設許可書を取得しました。

モンゴルから日本海へのゲートウェイ(東方大通道プロジェクト)



総延長1800km、モンゴル・中国・日本を結ぶ新大動脈

東方大通道は、モンゴル国ドルノット県チョイバルサン市が西の基点。そこから蒙・中国境の中間・内モンゴル自治区アルシャン市、吉林省白城市、長春市・吉林市を経て、日本海に近接する珲春市に至る、全長約1,800kmを鉄道で直結。さらに珲春市近接の港から日本海を経て日本海各港をネットワークする、日本にとってもまったく新しい国際経済・交流ルートとなります。

地下資源を軸に、モンゴルの総合的な発展を支援

当プロジェクトは、鉄道建設と地下資源開発を起爆剤に、モンゴル東部開発の拠点となるチョイバルサン市の都市開発、電気や水道などのインフラ整備、乱開発を防ぐ環境保護と省エネ、未来の人材を育成するための教育、弱者のための社会福祉など、バランスのとれた総合開発を志向。長期的な視野に立ち、モンゴルの発展を支援することを目標としています。

Copyright © 2010 Monatom Japan Inc. All Rights Reserved.

HOME	モンゴル政府からのメッセージ	会社概要	Our Business stage	Our Mission	ウラン・原子力開発 レアメタル等その他資源 輸送インフラ等	お問い合わせ
------	----------------	------	--------------------	-------------	-------------------------------------	--------

MONATOM JAPANの事業フィールド① ウラン・原子力開発関連



〈ウラン関連〉

モンゴルのウラン埋蔵量は世界最大規模と目されていますが、未だ残るカントリーリスクへの不安視などから、当国での鉱山開発における権益参画実績において、わが国は海外メジャーに遅れをとってきました。

MONATOM JAPANは、モンゴル国ウラン開発における政府直轄機関であるMONATOM社との包括的なアライアンス契約のもと、より信頼性の高い投資環境、事業参画環境を構築し、当国ウラン開発事業におけるアドバンテージ獲得に向けて活動します。

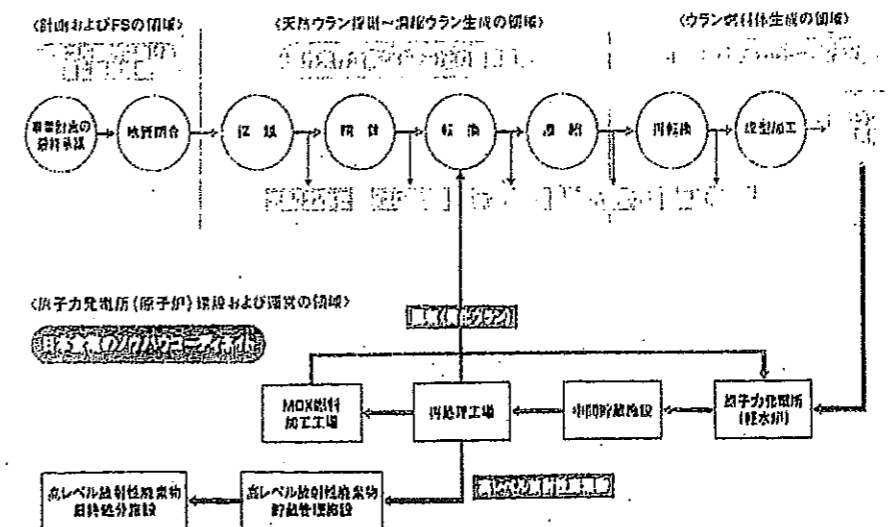
開発開発進捗中の主なウラン鉱山と埋蔵量

	鉱山名	埋蔵量のランク	鉱石埋蔵量(千トン)	含有率(%)	ウラン埋蔵量(トン)
確定埋蔵量	KHARAAT	O1+O2	28000.3	0.020	7,200
	KHARKHAN	O1+O2	11701.8	0.071	8,407
探査埋蔵量	DORNOD	O1+O7	16407.1	0.175	32,000
	GURBANHULAG	O1+O2	14705.9	0.17	25,000
	MARDAN	O1+O2	18125	0.18	2,800
増加可能性埋蔵量	DORHOOVONZULUUNHAYAN村 DULAANI地区の鉱山				(推定埋蔵量)40,000

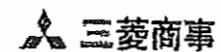
〈原子力開発〉

わが国の原子力平和利用の実績は他国に類を見ない高水準にあります。海外進出の遅れや国内市場の縮小など、わが国独自の「技術的・人的ノウハウ」蓄積の機会が失われつつあります。モンゴル政府では2021年までの原子力発電所の建設を表明しており、自国におけるノウハウの蓄積に向け、外資企業の参画にも積極姿勢を見せております。MONATOM JAPANは、原子力開発にまつわるモンゴル国の各プロジェクトチームとの協調関係を構築し、わが国の原子力関連企業のプロジェクト参画に向けての環境整備を推進いたします。

モンゴル国内におけるウラン・原子力開発フローと各種課題



Copyright © 2010 Monatom Japan Inc. All Rights Reserved.



モンゴルにおけるウラン資源探鉱開発プロジェクトへの参画

2009年12月21日

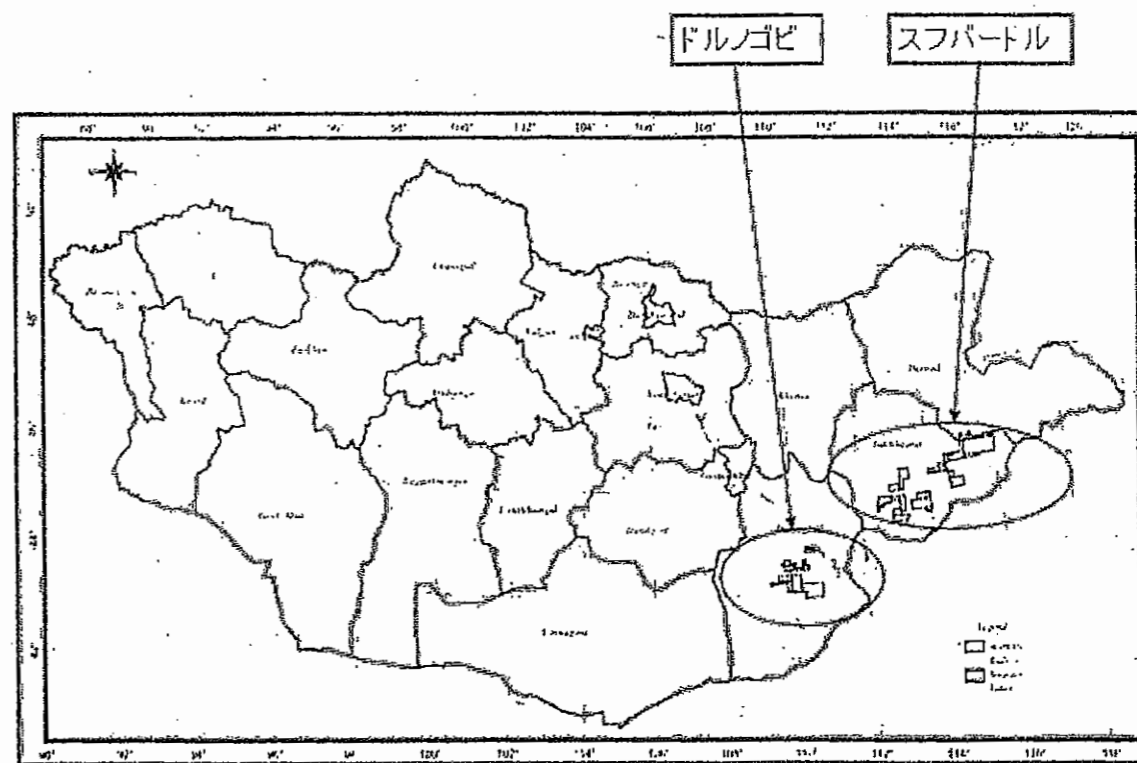
三菱商事は、アレバ社(本社:フランスパリ市)がモンゴルのドルノゴビ県およびスフバートル県で推進中のウラン資源探鉱開発プロジェクトへの参画につき、同社と合意しました。

既知資源量においては世界第15位、未確認資源を含めると世界最大の資源ポテンシャルを有するとされるモンゴルにおいて、アレバ社は10年以上前から探査活動を進めており、現在はドルノゴビ県およびスフバートル県に合計14,000km²超、36鉱区の探鉱ライセンスを有しています。当社は、アレバ社が支出した過去の探鉱費用と今後の探鉱及び事前調査費用を按分負担することにより本プロジェクトに参画し、権益を保有するアレバの完全子会社であるアレバ・モンゴル社の株式の34%を将来時点において取得する権利を保有することになります。

近年、ドルノゴビ県の鉱区において高いポテンシャルが期待される鉱床が発見されており、今後はアレバ・モンゴル社と当社が協力して、更なる探鉱・調査活動を推進します。アレバ社はフランスに本社を置き、ウランの探掘、精錬・加工から原子カプラント部門、再処理部門までを有する総合原子力企業であります。

温暖化ガスの排出レベルが低い原子力発電は、環境負荷の小さいエネルギー源として再評価されており、本プロジェクトは、原子力発電の燃料であるウラン精鉱の将来的な安定供給への貢献を目指すものであり、地球温暖化防止にも貢献するものであります。

当社は、ウラン資源探鉱・開発分野においてカナダと豪州でも探鉱プロジェクトを推進しており、本プロジェクトはこれに続く案件となります。



ニュースリリースに関するお問い合わせ先

三菱商事株式会社 広報部 報道チーム

TEL: 03-3210-2171 / FAX: 03-5252-7705

Anti Nuclear Movement Mongolia 作成

モンゴルの
ウラン 分布図

